

## 平成 29 年度第 1 回江南市地域公共交通会議 会議録

- 日 時 平成 29 年 8 月 2 日 (水) 午後 2 時～午後 3 時 00 分
- 場 所 市役所 3 階 第 2 委員会室
- 委 員 出席委員 16 名 (桑原 良隆 (代理 石屋 義道)、近藤 博之 (代理 平塚 康男)、古田 寛、小川 健司、坪内 三、杉本 忠久 (代理 森 慶之)、鈴木 浩示、八森 誠司、山田 敏也、磯部 友彦、平野 富一、小塚 昌宏 (代理 川田 保)、朱宮 光輝、鵜飼 嗣孝、佐藤 和弥、武田 篤司)  
欠席委員 1 名 (森 一浩)
- 傍聴者数 6 人
- 資料 1 : 市町村自家用有償旅客運送の更新登録の申請書
- 資料 2 - 1 : 江南市地域公共交通会議検討部会について
- 資料 2 - 2 : 平成 28 年度江南市地域公共交通基礎調査 報告書概要
- 資料 2 - 3 : 平成 29 年度以降の地域公共交通検討 工程表
- 資料 2 - 4 : 江南市地域公共交通会議検討部会設置要領
- 資料 2 - 5 : 平成 29 年度江南市地域公共交通会議検討部会 委員名簿
- 資料 3 : 「いこまい C A R (予約便)」及び名鉄バス (補助路線) 等の利用状況について
- 参考資料 : 江南市地域公共交通会議設置要綱  
地域公共交通について 活発で良い議論ができる会議のために

午後2時00分 開会

○市長あいさつ

○会長・副会長の選出

会長には磯部委員、副会長には平野委員を選出

○選任あいさつ

**会 長** 会長として任命されました。よろしくお願いします。

地域公共交通は難しく、どうして難しいかという、どこかの市町村を真似すればうまくいく訳ではなくて、真似したところが逆に失敗している場合があります。

ですから、地域の特性を活かしたものをやっていくしかないと思います。江南市は「いこまいCAR」というものがありまして、かなり独自のシステムをやっております。

地元の方が素晴らしいシステムとっていただいているか分からないですけれど、他のまちから見ると江南市は凄いことをやっているという評価はあるということです。

どうしてかというのは、真似ではなく、自分たちが独自で作り上げたものだからです。しかし、実際に利用する立場からみれば、まだまだというのがあれば、工夫して良くしていかなければならないので、地域でしっかりと考えてやるしかないと思います。そのための協力をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

**副会長** 副会長として何ができるか、微力ではありますが地域の公共交通がより良いものになるように頑張ります。よろしくお願いします。

○協議事項

市町村運営有償運送（市町村福祉輸送）の更新登録について（資料1）

**会 長** それでは協議事項に入ります。市町村運営有償運送（市町村福祉輸送）の更新登録について、事務局より説明をお願いします。

**事務局** 資料1に基づき説明。

**会 長** ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありました、市町村運営有償運送の更新登録について、委員の皆様からご質問・ご意見ございましたらお受けいたします。

**会 長** よろしいでしょうか。私から確認のためにご質問させていただきますけれど、市町村有償運送を今までやってきた訳ですが、トラブルや何か困ったことは起きていないでしょうか。市として把握されているでしょうか。

**事務局** 大きな事故があったりとか、利用者の方に怪我をさせたりしたとか、そういった報告は受けておりません。

困ったこととしましては、希望される方が多く、ご希望通りに運用できていないところが今のところの検討事項です。

**委 員** 使用する車両の保険の加入はどうされていますか。

**事務局** こちらの車両につきましては、市で所有しているものを「ときわ会」に貸し出している形となっております。保険関係は市で責任をもって加入させて頂いています。

**会 長** よろしければ議決という形とさせていただきたいです。市町村運営自家用有償運送の更新について承認することに、ご異議ございませんでしょうか。  
<異議なし>

**会 長** 市町村運営有償運送の更新登録につきましては、承認するという事で提出させていただきます。

#### ○報告事項

・江南市地域公共交通会議検討部会について（資料2）

**会 長** 続きまして、報告事項に行きたいと思います。江南市地域公共交通会議検討部会について、事務局より説明をお願いします。

**事務局** 資料2-1～資料2-5に基づいて説明。

**会 長** ありがとうございます。昨年からの課題を説明して頂き、新たに検討部会を設けて検討を開始したことをご説明頂きました。この点につきまして、委員の皆様からご質問・ご意見ございましたらお受けいたしますが、いかがでしょうか。

**委 員** 検討部会でモニタリングの関係で事例の説明をしているとお話がありましたが、公共交通会議の中で評価の仕組みというなかなか難しいことをやられるんだなと思っているんですが、具体的にどのようなイメージで評価をやっていくのか、そこをお聞きしたいのと、気運が高まっていないというのがありまして、気運が高まっていないことに対して、どのようなことを考えているか、この2点を教えていただきたいと思います。

**会 長** 評価ということで、恐らく江南市が今悩んでいることを評価して欲しいということがあると思いますので、その辺も含めて言って頂ければ良いなと思います。

**事務局** 評価方法というのは、今回初めて取り組む内容であるため、先進地事例として、3自治体程ご紹介して、どうやっていった方がいいのかということを検討しております。次回以降にもう少し具体的にまとめたうえで皆様に報告したいと思っております。

気運の高まりでございますが、地域の方からの声が重要でございます、要望書等が昨年度も1件出てまいりました。そうした時に実際どのような対応をしたら良いのか、ということを経営として地域の課題や実情と一緒に検討していく場を作っていく必要があると考えております。今後、具体的なやり方やルール作りを考えていければと思っております。

**会 長** 去年の基礎調査を受けて、いろいろな問題点が出てきていると思います。立場によって悩みは違います。タクシー会社、バス会社、住民、行政、皆それぞれ思うことは違ってまいりますので、その辺をひっくるめて、どうやって考えていくのか、検討部会で大いに検討して欲しいと思っております。去年の報告書が基本になっていますので、それに基づいて検討していただくことになると思っております。

事務局 具体的な先行事例として半田市（地域公共交通条例）、豊田市（公共交通評価会議）、蒲郡市（地域公共交通事業の推進にかかる行動指針）をご紹介します。

会長 冒頭説明したように、物真似ではいけないので、あくまでも各自治体で地域の情勢においてやっていると思いますので、しっかりと読み込んで江南市が抱えている悩み・課題に対してどのように適用していくのかを検討部会で考えていただきたいと思っています。

会長 公共交通会議検討部会は公開・非公開の立場で行くとどちらでしょうか。  
事務局 非公開でお願いしています。

会長 そういう条件が付いておりますから、いろいろな検討をしっかりとやっていただきたいと思っています。

・「いこまいCAR（予約便）」及び名鉄バス（補助路線）等の利用状況について  
(資料3)

会長 もう一つの報告事項を伝えます。いこまいCAR（予約便）及び名鉄バス（補助路線）等の利用状況について、事務局より報告をお願いいたします。

事務局 資料3に基づいて説明。

会長 ただいま事務局から報告がありましたこの件について、何かご質問等あればお受けしますが、いかがでしょうか。

委員 いこまいCARは特徴的との事ということでお話がありましたが、もう一度、ルールを、予約がどういう風で、行き先などについて、どういう決まりで運行されているかをご紹介します。

また、名鉄バスの状況について、補助路線ということだけのご紹介なんですけれども、地域の中の公共交通ということだと、非補助路線というのもありますので、お渡しいただける限りで、出せる情報があればあるといいなと思いますけれど、どうでしょう。

事務局 いこまいCARの概要について説明。

会長 今の情報は、市のホームページに載っていますね。事前に登録もできるということですね。

事務局 はい、いこまいCARの登録は電話でもできます。

名鉄バスにつきましては、補助路線以外の情報・統計は持ち合わせておりませんので、よろしく願いいたします。

委員 今、いこまいCARのシステムについてご説明頂きましたが、愛知県内では特に高齢者の交通事故が増えている状況でして、その中でいこまいCARの登録に当たって、特に運転免許返納者に対する助成とか、そういった措置があれば教えていただきたいですけれど、よろしく願いいたします。

事務局 運転経歴証明書を持っていただいている方は、利用料金から更に1割引となります。

会長 返納されている方はメリットがあるということですね。

委員 1割引というのは、都度利用ごとに1割引を受けられるということですか。

事務局 その通りです。江南市独自の制度ではなく、愛知県タクシー協会の制度でございます。

**委 員** H28.1 に運賃改定をした際、名古屋市内を除いた愛知県内全体で免許返納者には割引制度としてタクシー利用料金 1 割引が適用していただいているという形で、全てのタクシー会社で適用できますので、それを適用いただいているということです。

**会 長** いこまいCARの特徴はあくまでも、普通のタクシーの仕組みを利用しながら、支払いの額を市から補助という体制をとっていることがあります。タクシーとしては、あえて言うと乗合という部分であるが、乗合申請も事前にしておくのでしょうか。

**事務局** タクシー会社の配車の受付時に、乗合が出来るルールとしています。

**会 長** 後はよろしいでしょうか、いこまいCARと名鉄バスの補助路線。補助路線はあくまでも市が補助している所と、大口町のコミュニティバスの江南市内に入っております、いろいろ利用されているので、報告がありました。よろしいでしょうか。

#### ○その他

**会 長** 以上で予定しておりました内容は全て終了いたしました。事務局から何か連絡事項はありますか。

**事務局** 本日の会議において、市町村運営有償運送（市町村福祉輸送）の更新登録にご承認を頂きましたので、中部運輸局愛知運輸支局長あてに、江南市地域公共交通会議において協議が整った旨の書類を提出させていただきます。

今年度の会議の日程は、第2回江南市地域公共交通会議を10月中旬に、第3回を2月中旬に予定しております。日時は決まり次第、改めて連絡させていただきます。

**会 長** ありがとうございます。それでは、せっかくの機会ですので、何か交通体系に関して、または交通会議に関して、何かご意見、ご要望がございましたら、ご発言をお願いしたいと思いますけれども。委員の皆様いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

**会 長** 特に無いようですので、これをもちまして、本日の江南市地域公共交通会議を閉会させていただきます。慎重なご審議を賜り、誠にありがとうございました。

午後3時00分 閉会